

# 令和7年 **5**月の**優しさ**通信



## 抱っこひも 落下事故多発

### 着用中の事例「すり抜け」7割 前かがみ・緩めすぎ注意

- \*抱っこひもの使用時の落下事故は2019年4月から2025年1月に138件ありました。
  - \*このうち、骨折や頭蓋内損傷といった重篤な怪我は27%。
  - \*着用中の落下事故は95件(69%)。
  - \*43件(31%)は着脱の途中の落下。
  - \*原因で最も多いのは抱っこひもからの「すり抜け」で、着用中の事故の7割。
  - \*ひもを緩めすぎるなど誤った装着方法をしているケースが目立ちました。
  - \*半数の落下事故は、保護者が前かがみや体を横に傾けた際に乳児がすり抜けていました。
  - \*知人に譲ってもらった抱っこひもや中古品を買う利用者は14.8%。
  - \*「ヒヤリ・ハット」の経験者は、新品を買った人よりやや多い傾向。
- (2025年4月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 高齢者「孤独死」5.8万人 昨年

### 発見に1か月以上7.8% 警察庁初集計

- \*2024年に一人暮らしの自宅で亡くなった人は76,020人で、うち76.4%の58,044人が65歳以上の高齢者。
  - \*2024年の死者数は約161万人で、自宅で1人で亡くなった高齢者は単純計算で3.6%。
  - \*65歳以上の遺体のうち、死亡推定時点から発見までにかかった日数は「当日から1日」が最多で39.2%。「1か月以上」は7.8%。
  - \*死後8日以上経過していたケースについて、生前に社会的孤立していたことが強く推認され、2024年では全年齢で21,856人が当てはまります。
- (2025年4月13日 日本経済新聞記事より抜粋)



不登校の保護者 離職 2割 2人に1人「孤独感じた」

「わが子の隣に」収入減も 相談など支援強化が急務

\*2023年度の不登校の小中学生は過去最多の34万人。5年前から倍増。

\*子どもの不登校によって「孤独を感じた」保護者は55%。

\*体調不良になったのは26%、精神科を受診したのは15%。

\*19%が望まない離職をしていました。

\*不登校をきっかけに世帯収入が減った家庭は3割超。

(2025年4月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

